

# 弓道ながの

第31号

発行：長野県弓道連盟  
会長 山川茂樹  
〒396-0025  
伊那市荒井3919-3  
TEL.0265(72)3060  
編集：県弓連広報部  
印刷：榊宮澤印刷

## 木の実 は元へ鳥はふる巢に

副会長 外 園 公 毅



最近国体の強化練習に以前少年として国体に出場した人達が一緒に練習したい

「指導を受けたい」と訪ねてくるようになりまし。大学で活躍している人もおり、上達ぶりに目を見張っています。前にはこういうことはなかったことで、将にこれは我々が待ち望んでいたことなのです。彼等が国体少年の部を終えるとき、是非長野に戻ってきてまた一緒に国体に挑戦しようとして約束して別れました。その後も情報を交換し動向の把握を怠りなくしております。国体少年の部を強化部で担当するようになり八年目になります。優れた選手は待っていてはこの広い長野県ではなかなか来てくれません。とにかく足で稼いで自分達の目でもいい選手

を探そうと県新人戦、選抜予選会から選手選考を行い、国体強化選手を指定し、また地区高校専門委員長、顧問の先生と連携して優れた選手の発掘を行なってきました。一月〜三月の寒い時期、山川会長がまだ強化部担当副会長の時から強化部員と各地区を回り、本当に基本から指導し、その中で直にいい選手を見て指導してきました。勿論短期的にはその年の国体に勝つための選手を見つけることが第一義にあるわけですが、中・長期的には彼等がゆくゆくは長野に帰ってきてくれて県弓連の戦力になってくれることを期待しているわけです。

高校生は「宝の山」です。各地区の道場で部活としてではなく、日頃の練習、弓道教室に高校生を受け入れてくれている所はどれぐらいあるでしょうか。長野県の高校弓士の多さと残存率

の低さに手をこまねいては長野県の弓道の発展はないのです。駒ヶ根の弓道場も教室で高校生を受け入れるようになって約十年になります。教室が終了しても部活だけでは飽き足らないとみえて、教室修了生のための火、金の練習日には大勢押しかけます。

高校のクラブ活動だけで卒業した人はここで弓道を終える人が多いが、地域の道場で地域の人たちと一緒に練習した高校生は必ず卒業しても顔を出してくれま。休暇帰省中に「こんにちは、ご無沙汰しています」と訪れてきてくれて喜ばせてくれます。

社会人になって古巣に戻ってくる人も増え、その人たちが中心になって輪が広がるという相乗効果も生じてきました。どの地区にも高校生はなされた優れた弓士がいます。地方大会でそういう人に目をつけ、また国体の強化指定選手に声を掛けその地区の道場で練習、指導できるように



練習日に教室を修了した高校生達と

してもらえないでしょうか。六月の県高校総体が終わると三年生はクラブを退部してから卒業までは学校の道場では引きません。その期間が非常にもつたいないので。三年生については地域の道場の寛大な処置で練習させてもらえないのでしょうか。また地方大会では退部三年生は一般扱いで参加させてもらえるような対応は出来ないのでしょうか。確かに高校生が来るとその服装や言動は「なんだい」と思う時もあります。他人の道場で練習する時のマナーや大学や社会に出た時に通用する弓道を教えるのも我々の責任です。大昔から「いまどきの若い者は」と言われなかつた時代はないといえます。また私たちの若かりし時のことも思い起こしておおらかに指導していただきたい。どうか帰ってくる古巣を用意しておいてもらいたい。

育成には時間と根気と工夫が必要です。彼等が長野県のために活躍する姿を見届けられるかははなはだ心もとないが、今の長野県の低迷を脱する日が必ず来ることを念じて止みません。

越果 信結 北国

# 成年女子・総合優勝、成年男子・総合二位 とともに本国体へ、出場権得る！ 少年男子・女子は健闘するも、実力発揮できず

## 「北信越国体を振り返って」

少年男子監督 山浦 博

会員の皆様に於かれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また本年度国体弓道のために、これまで暖かいご声援、ご指導とご協力を賜りましたことに関係者の一員として、厚く御礼申し上げます。今年度の目標も四種別揃つての本国体（トキめき新潟国体 新潟市新津）出場でしたが、皆様も報道等でご存知の通り、少年男子、少年女子は強化部のチームワークの下、力を合わせベストを尽しましたが不本意な成績に終り念願の本国体出場は叶いませんでした。しかし、成年に関しましては、女子が総合一位、男子が総合二位とよく健闘し本国体出場の権利を獲得しました。今後更に力をつけ、好成績を上げてくれるものより念じています。会員の皆様には更なるご声援をお願い申し上げます。（しかし、この会報が会員の皆様に届く

頃には既に国体は終了していますが）

さてこの八月上旬、県弓道連盟本部より「弓道なごの」に北信越国体での本県選手の活躍ぶりを会員に伝えるべく観戦記を書いてくれないかとの依頼を受け躊躇しながら一応執筆を承諾はしたものの過去の経験（平成十九年より少年男子監督）から果して試合の最中に選手から離れ冷静な視点で他の試合の状況を的確に会員の皆様に伝えることが出来るのか先ず不安になりました。また、過去二年間の北信越団体及び本国体を振り返ってみても、一回戦が終ることに選手と共に一喜一憂し、その後の射術面の修正、精神面でのサポート等に追われ、残念なことには他の競技は殆ど観戦することができませんでした。その当初の不安が八月二十二日午前十時三十分開始遠的回戦で現実のものとなりました。十二射五中二十一点、控え室に帰った選手個々の落胆ぶり、私は烈しい怒りを押さえつつ二回戦からを思い考え、選手達と接しているその時点で既に私には、他

の試合を観戦し会員の皆様にその状況を報告するという心の余裕すらなくなっていました。

監督を離れ、今後観戦記を書く様な場面を与えられた際には、しっかりとご報告をさせていただきたいと思えます。その折までご容赦下さいます様心からお願い申し上げます。



成年女子近的（中村・栗林・高山）



成年男子遠的1回戦（志村・亀岡・市川）

### 速報 第42回全日本女子弓道選手権大会

## 降旗奉子 錬士六段(岡谷市) が初優勝！

小岩井八重子(第3回)・  
今村康子(第25回・31回)に次ぐ快挙！  
詳細は次号(32号)に掲載します。

# 熱闘！「近畿まほろば総体」 赤穂高校(女子団体)八位入賞！

## 勝利への執着心

赤穂高等学校 北原 康伸

今年のインターハイは、奈良県を中心に近畿まほろば総体として、近畿六府県で行われた。弓道競技は七月二十

八日奈良市の総合開会式に参加し、夕方橿原市橿原公苑第一体育館特設弓道場にて弓道競技の開会式、競技は二十九日団体個人予選から始まった。三十日は団体決勝一回戦のあと、個人準決勝と決勝である。三十一日は団体決勝二回戦から決勝まで行われた。長野県からは、女子男子団体各一校、女子男子個人各二名が参加した。



2009近畿 まほろば総体 平成21年度全国高等学校総合体育大会  
第54回 全国高等学校弓道大会  
平成21年7月28日～31日 会場 奈良県橿原公苑第1体育館特設弓道場

赤穂高校弓道部の三年生は「全国大会出場」「正射必中」を目標としていた。県大会を幸運にも勝ち上がることができた。二週間後の北信越大会を前に監督は「長野県代表は優勝か、最低三位だ」と何度か言っただけだったが、長野県唯一の予選落ち。「インターハイに出る学校として恥ずかしくなかった。甘くみていた」(城取実央)

目標が明確になっていなかった。五年前の七位を上回るベスト四。地域新聞の取材をうけた七月五日にその目標が決まった。大会までの練習は、「本場に最後の部活だと思い、楽しみながらも、長野県の代表として身を引き締め」(辻侑里恵)てやった。



実際の大会と全然レベルが違っていて、見ただけで緊張した」(小林紗枝)

一回だけ本会場で練習できる公開練習では「いつもと全然違った感じで全く自分の調子がわからなくなって、パニックになった」(岩牧あいり)

仮設練習場や巻藁練習場など広くて、「仮設では他の選手たちがポンポン中てていた」(増島あい子) 雨がちで、仮設練習場の周囲はぬかるみ、矢取りに行く足袋がぬれて汚れた。

予選の日、「悔いだけは残さないようにしよう」(小林)と試合に臨んだ。二十射十二中だった。競射なしで通過した。「緊張せずに明日はいつも通りの射をしようと思った」(小林)

翌日の決勝一回戦は、大分豊府高校と対戦した。「最終日まで絶対残りたい!!気は抜かずによく」(辻) 十五対六で勝つことができた。「自分の調子が少し戻ってホッとした」(岩牧)

最終日決勝二回戦、相手は一回戦十三中の福島商業高校、「一回戦は自分の調子がよくなかったから、今度は引っ張っていくぞ!!」(城取)「ここまで来れたのだから、あとはどこまでいけるかわからないが、精一杯楽しむ」

(辻) 試合は十三対十四で敗れた。「一中差で負けたということが凄く悔しかった」(小林)「足を引く張ってしまった。みんなとここまでやってこれて幸せだった」(岩牧)「先輩とこれで最後だという悲しさがあった」(増島)「まさか負けると思ってた。チームを力押しできなかった」(辻)「すごく悔しかったけど、この仲間と最後まで弓道をやりきって終わって満足だった」(城取) 相手は真剣勝負をし、こちらはすでに満足していた。その差が一中差の負けにつながった。目標を達成せずに終わることは不本意だったが、全国大会に出場できたこの選手たちを称えたいと思う。

平成二十一年度  
北信越地区地連幹部  
講習会に参加して

教士六段 大久保まき子

七月十一日・十二日長野運動公園弓道場に於て、講師宮田融先生、本多政和先生をお迎えし、各県より五名、長野県七名の二十七名が受講しました。

第一日目宮田先生の矢渡、第二日目本多先生の矢渡、見落とすところの無き様、拝見勉強をさせて頂く事が出来ました。二日間の介添の講評では、第二介添の羽ごきはスーハーと息合いで、第一介添に矢を渡す時「武士の情」

右手射付節を少し返すか引くか…。第一介添は、第二介添より出された矢を一瞬自分の物にする。人から物を貰った時、一遍自分の物にして人に渡すその気持で自分の物にした矢を射手に渡す誠意を尽す。一手行射について、弓は心を錬る。最低をやるうと思えばよい。上に上を期待せず一番悪いところを自分で冷静に反省し、地元の指導者の助言を受けいつもフレッシュな気持ちで頑張る。出口まで忠実に進む。基本の姿勢動作では執弓の姿勢で腰骨(手掛の骨)に拳がきちんと付くこと。一歩出した足が止まる時、次の足が出る様に。前進後退時の歩行はバウンドを

つけない。一つの射礼研修では射位で向きを変える踵は徐ろに指先を上げず、へソを的方向へ回し寄せ足で上に伸びる。射位までの二番目三番目は気を入れ元気で進む。又一緒に動作の三人の真ん中が上手に動作をすることで流れがきれいになる。定めの座で一歩後退するのは敷物を外す為に行った。黒板に書かれた「碎啄」「轍鮒の急」の説明。又基本の三の数について、的前で退去時三足で引く。出口で三足目に縁が切れる等々数多い講話をお聞きし、再認識致しました。二日間両先生には汗拭う暇もなく熱心にご指導を頂きました。私自身、沢山の課題を与えられた講習会でした。



学校弓道指導者  
講習会に参加して

辰野高校 矢部 誠一

八月一〜二日愛知県武道館で行われた講習会に参加させて頂いた頂きました。宮田融教士八段、淵元魏教士八段、澤田忠教士八段の講師陣の下に、北信越・東海・近畿地区の十二府県から四十七名の学校弓道関係者が参加しての講習会でした。内容は、中学校保健体育における武道必修化を踏まえた学校弓道指導についてということで、基本から丁寧に教えて頂きました。

主任講師の宮田先生のお話の中で、実際には十時間程度の授業で矢を飛ばせるようにする難しさや、中学校で弓道を教えられる先生の不足など、いくつかの問題点も指摘されていました。また、「弓道指導の手引き」の編集に当たっては、当時の文部省の担当者に「中仕掛け」の内容は載せる必要があるのかと聞かれたので、「それならば中仕掛けのない新しい弦で実際に引いてみて下さい」と言った、というエピソードなどの苦労話も聞かせて頂きました。

講習会を通して改めて感じたことは、初めて弓を引く子供達に正しい弓

を教えることの重要性和、その責任です。生涯を通じて弓に親しむことができ、弓道を通じて人生を豊かにすることが出来る。そんな子供達を一人でも多く育てられるよう、自身の研鑽がますます必要であると感じています。最後に、宮田先生の道場に掲示してあるという文章を紹介し、報告に代えさせて頂きます。「弓道を嗜む人は、礼儀を重んじ、真摯・誠実であり、思いやりの心を忘れず、施設・用具を大切にし、安全を心がけること」



# 弓仲間紹介

## 「私と弓仲間」

長野支部 四段 西尾 文子

運動公園クラブの一員に加えていただいていた二度目の秋を迎えています。早いものです。昼間は栃木県と変わらないほどの暑さなのに、朝夕吹く風の涼しさに驚いた夏、秋の短さ、積もら

ないまでも毎日降る雪に、雪の珍しさが消えた冬、あたり一面の瞬の開花に目を見張る思いのした春。宇都宮とはまるで違う四季に、次はどうなるんだろうと楽しんだ一年でした。

弓道は、宇都宮時代に始めたので十四年目となります。週二日の練習で今日まで来ましたが、年数ばかり長く、力量が伴っていないので恥ずかしい限りですが、クラブの皆さんには入部当初からよくしていた、ときには有難く思います。弓のことは



前列中央が筆者

もちろん、日常生活の様々なことから、美味しい食べ物や作り方、その時季の観光の見処など、いろんなことを教えてもらいました。ずっと前から知り合いのように、こんなにすんなりと受け入れてもらえたのも、弓道という同じ一つのものに取り組んでいる仲間の集まりだからだと感じています。宇都宮の弓友とは今も連絡を取り合いますし、審査で出会った他県の人も、手紙や電話で話します。弓は人の和を広げてくれます。転勤族の宿命で、いつの日か長野を離れる日が必ず来ます。その日まではこの地で、この仲間達と、健康

で楽しく弓が引ける毎日であればいいなと願っています。運動公園クラブの皆様、その日まで、いいえ、それ以降もよろしくお付き合いをお願いします。弓を続けている限り、どこに行っても素敵な仲間との出会いが待っていてくれる気がします。弓道に感謝!! 弓友に感謝!!

# 私と弓道

諏訪支部五段 名取 吉幸

私が弓道を始めたのは、今から三十年程前の事になります。

当時、自分一人でも楽しめるスポーツは無いかと考えていた所、岡谷市で初心者弓道教室が開催される事を知り、弓道なら一人でも練習ができ、身体が動く限り、自分なりの弓が引けるのではないかと思い受講させて頂きました。

数回の講習会は終了しましたが、練習する所も無く休日には、畑に畳を立てかけ練習していました。

そんな時、有線放送で御射山社奉納弓道大会が行われる事を知り参加させて頂きました。

年一回、この弓道大会に参加する事が楽しみでしたが、数回の講習会と自分一人での練習では的中の訳も無く、寂しい思いで帰路についた事が昨日の事の様に思い出されません。

この様な状況が数年続いた時、年配の方から「お宅さんよく来てくれるけど何処で練習して居るの。もし良かったら町内に愛弓会(現弓道部)と言う弓仲間の会が在るので一緒に練習しないか」と誘われました。この時初めて町内で弓を引く事が出来

ると知り、会の仲間に入れて頂き、皆さんと一緒に練習を始める事が出来ました。

最近では町・支部月例会及び、各地域の大会に参加する事が楽しみです。また、昨年還暦を迎えた記念として、今年ねりんピック予選会に挑戦しました。その結果、県の代表として九月に北海道で行われる全国大会に出場できる事になり、責任を感じつつ日々練習を重ねております。

弓道部の皆さんのご指導と人柄及び、きっかけを与えてくださった岡谷市に感謝しております。今後も私は、弓道を楽しんでいきます。



大会紹介

飯伊高齢者



弓道大会

この大会は昭和五十八年、当時の飯伊支部長であった故・下村三郎先生の「高齢者だけで気軽に楽しめる大会を実施したらどうだろうか」との発案で産声を上げ、中日新聞社の後援を得て毎年二回(春秋)の大会を積み重ね、本年六月十日に五十五回目の節目の大会を県営飯田弓道場で開きました。

この間、会員数の減少や高齢化が進んだため大会の内容も変えながら、今日まで続けてきております。こうした高齢者だけの弓道大会も珍しいことと思われまますので、紹介を兼ね、現在実施している大会の様子をお伝えしたいと思います。

◆会員資格と会の運営

- ☆参加資格は六十歳以上の弓友会員
- ☆運営は会員から推薦された役員(正・副会長)が行う。
- ☆毎年二回(六月・十月の平日)実施
- ☆会場は県営飯田、飯田市営のいずれかの弓道場とする。

◆大会の概要と形式

- ①開会式のあと、矢渡しを行う。
- ②全員で一手射札を行い、皆中者による射詰競射を行う。
- ③金的射を行う。(但し、二巡目以降は三光とする。)
- ④個人戦(二十射又は十二射)を行う。



ずらり並んだ高齢者の面々

- ⑤総合優勝者決定戦  
 齢区分はその都度異なる。個人戦各部の一位者による射抜きを行う。
- ⑥団体戦(二十射又は十二射)を行う。  
 ※団体戦の組分けの方法は、先ず、参加者を三人一組になるように組数を決定し(各組は『大将』・『中将』・『少将』で構成する)、個人戦の最上位者から各組のトップ一名を『大将』として張り付け、残りの参加者を個人戦の成績順に籤引きにより各組の『中将』『少将』として振り分ける。
- ⑦参加費はできるだけ商品で還元する。

※個人戦は参加者を年齢により三部に分けて行い、各部毎に上位五位までを入賞者とする。  
 ※各部の名称は左の通り。

- 「大老の部」(八十歳以上)
- 「中老の部」(七十歳〜七十九歳)
- 「小老の部」(六十歳〜六十九歳)
- ( )の年齢は目安で、各部の人数を均等にするため、年

以上が現在の大会概要です。四十五名の会員の年齢構成は六十歳代が一割、七十歳代が四割、八十歳代が五割となっています。高齢化が進む中で大会の運営に工夫を凝らし、年に二回、一日かけて弓に親しみ、弓を愉しみ味わい、お互いに懇親を深め、和やかに過ごしています。毎回好評を得て主催者としては嬉しく思っています。  
 二十七年の長い歴史を閉じる訳にはいかないのです、今後先輩からの教訓を踏まえて、守り続けて参ります。

(荒井清 記)



前号で飯山支部の岡田宏之さんの継矢の記事を載せましたが、その後、続け様に二件の「継矢」の情報が寄せられましたのでお届けします。

継矢情報

その一(駒ヶ根道場)

上伊那支部 笹岡 達也

「あーやっちゃった…」それは支部対抗戦前日のことでした。

八月二十九日(土)午後六時から上伊那支部の近的選手は駒ヶ根弓道場に集まり翌日の支部対抗戦に備え合同練習していました。僕も年間の支部月例会の成績により、近的の選手に選ばれており、皆で総合優勝を目指して練習に励んでいたところで。

話は少し戻りますが、一年前の支部対抗戦、僕は遠的の選手として出場していました。団体戦六〇射終え、飯伊支部と同中で優勝決定戦を迎えました。互いに一本ずつ外した後、勝負を決める一本を僕はぬきまし

た。その一本で遠的の優勝を逃した  
だけでなく総合優勝をも逃しまし  
た。その時の雪辱を晴らすため、今  
年の支部対抗戦は並々ならぬ決意を  
持つて挑んでいたものです。

そんな中で今回の出来事は起こり  
ました。本番を想定して行っていた  
競射の二立ち目、三本目の矢だった  
と思います。的に向かって真っ直ぐ  
飛んでいく矢を見て、心の中で「よ  
し！」と思ったその瞬間、普段とは  
違う鈍い音が響きました。僕は大前  
だったので引き終わると一目散に矢  
取りへ。すると矢取り道から見えた  
僕の矢は通常の二倍の長さになって  
いました。約半年前にも同じように  
矢をダメにしていた僕にとっては痛  
恨の出来事でした。しかし、そんな  
思いとは裏腹にこれは一種の厄払い  
みたいなもので、  
明日の大会は良い  
ことが起こるので  
はないかとの期待  
も抱きました。  
さて、  
結果はあ



えてここには書きませんが皆さんで  
紙面の中を調べていただければと思  
います。

### 継矢情報

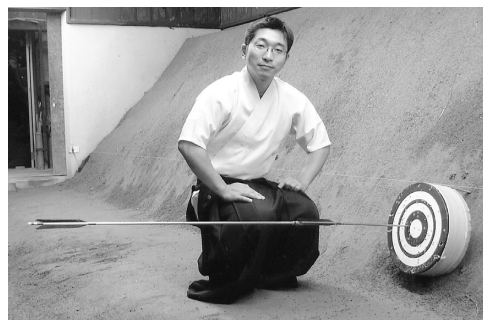
#### その二(茅野道場)

茅野市弓道協会 牛山 芳信

去年の夏、三十歳を目の前にして、  
何か自分がいままでしたことの無い  
新しい事をしてみたい衝動が湧いて  
きました。そんな折に知人から茅野  
市の弓道初心者教室があることを聞  
き、参加した事が弓道を始めたきつ

かけでした。初心者教室後茅野市弓  
道協会に入会して茅野市弓道場で諸  
先輩に指導していただき練習に勤し  
む毎日です。そんな中、今年の七月  
二十九日普段と同じ様に仕事帰りに  
茅野市弓道場で、土橋二郎さんと森  
浩子さんと練習に勤しんでいまし  
た。練習を一時間ほどしての前に立  
ち弓を引いた時、安土に白い筈が飛  
び散るのが見えました。初めて筈を  
打ってしまったかなと思っっている  
と、矢取りに行つて下さっていた土  
橋さんが継矢になっていると教えて  
下さいました。筈を打つたことが無

いの先に先に継矢を経験できるとは、  
三ヶ月前に買ったばかりで駄目にな  
ってしま  
った矢も  
本望だと思いま  
す。これ  
を機にま  
た新鮮な  
気持で射  
に打ち込  
んでいこ  
うと思  
います。



## 全弓連設立六十周年記念事業について

全日本弓道連盟設立六十周年記念  
事業について県弓連HPに八月十四  
日付で掲載された山川会長名の【実  
施要項】を周知徹底のため記載します。  
(県弓連ホームページ掲載記事から引用)

### 全日本弓道連盟設立六十周年記念事業

#### 【実施要項】(抜粋)

長野県弓道連盟会長 山川 茂樹

#### 一、日程・内容

十月十七日 記念式典・祝賀会

(京王プラザホテル)

十月十八日 記念祝射会

(全日本弓道連盟中央道場)  
種目 ・ 高段者演武(範士・八段)  
・ 特別演武(全弓連選考)

#### ・ 地連対抗戦

#### 二、参加について(記念式典・祝賀会)

【範士及び八段の希望者、特別  
演武及び地連対抗戦出場者】

※県連からの参加者は次の通りです。

会長、評議員、範士三名、

八段二名、地連対抗戦選手五名

#### 三、地連対抗戦の県選手決定について

各副会長と協議の結果、選手の  
選出について会長に一任されまし

#### 四、その他

会員のご声援をお願いします。

市川隆光、久保田智恵、  
土川俊市

六十周年記念誌の発行が計画  
されていますので、その際には  
ご協力をお願いします。

投稿

松代文武学校

弓術所について

長野支部 田島良男

長野市営弓道場が増改築されて今
の姿に生まれ変わった平成十六年四
月までの工事期間中、長野運動公園
クラブの何人かの弓友が国の重要文
化財に指定されている「松代文武学
校の弓術所」で稽古をされている姿
がマスコミで報じられました。私
はその弓術所について少しばかり歴
史を調べてみました。

江戸時代も中期になると信濃国で
も各藩で藩士の子弟の学問・武芸を
奨励する気運が高まってまいりまし
たが、松代藩では六代藩主真田幸弘
の代の宝暦八年(一七五八)稽古所
を開設しました。また同じ頃松本藩
でも藩校を開設しております。この
二藩が信濃国では最初でした。次い
で寛政改革期の一八〇〇年代に入り
ますと他の各藩でも相次いで藩校を
開設しておりますが、その中で文武
両道を兼修させたのは松代・松本・
高島・上田・高遠・岩村田の六藩で
あったといえます。

松代藩が「松代文武学校」という
名称で開校したのは九代藩主真田幸
教の代の安政二年(一八五五)の四
月であります。

学校は八歳で入学、十四歳までは
文学を、十五歳になると本格的に武
芸を受講させ卒業ということはなか
ったといえます。内容は文学・兵
学・医学等、武術には弓・剣・槍・
柔・砲術等がありました。開校時
の弓術の弓

稽古日割
Table with 2 columns: 日割, 師範
Rows include times like 午前, 午後 and names like 真田勘解由門弟, 青木五郎兵衛門弟.

武学校は廃校になってしまいました
が、日置流の弓法を修練した師範や
子弟の中に後継者を育てる気運が無
かったのだろうか、かつて私は何派
か知りませんが日置流の大先生の射
を拝見して感動したことを思い出し

残念に思いました。

さて弓術所は、広さは約四〇坪。



上座には一段高く畳敷きで「御座の間」と「控の間」があり、的正面の間口は五間、奥行は約四間で後にも畳敷の「高座」という子弟の控え場所があります。梁の広さから多分三人立だったと思います。尚、他の施設の事は省略させていただきますが、廃校後は松代小学校の一部として使用されておりました。そして昭和二十八年には国の史跡に指定されました。然し、昭和四十年八月からの松代群発地震により大きな被害をうけてしまいました。そこで長野市では復元工事に取掛かり、昭和五十三年に漸く昔のままの姿に復元され、松代城跡等とともに公開され多くの見学者が訪れております。

参考文献

- 更埴地方誌第三卷近世編
長野県史第六卷第五章
長野市「旧文武学校文学
所外修理報告書」

大会結果

◆第49回近県弓道大会
兼西澤杯争奪弓道大会

○6月13日/山ノ内町

- 1位 水田明美(駒ヶ根市)
2位 井堀孝雄(長野市)
3位 宮阪和久(山ノ内町)
4位 小山謙太郎(須坂市)
5位 郷道隆志(中野市)
6位 岡田宏之(飯山市)
7位 南島 健(松川町)
☆金賞 中島 勁(長野市)
☆銀賞 大淵克男(長岡市)
☆銅賞 小林康男(小諸市)

◆第56回全信州弓道大会

○6月14日/山ノ内町

- ★高校男子
1位 上田高校(福沢・金井・成澤)
2位 中野立志館B(塚野・萩原・藤本)
3位 中野西A(北沢・小林健・小林拳)
★高校女子
1位 中野西A(山本・川合・黒崎)
2位 須坂東A(中村・黒岩・窪田)
3位 長野日大A(朝日・鏑木・山田)
★一般
1位 安藤直貴(須坂市)
2位 飯塚邦洋(長野市)
3位 池上武(山ノ内町)
4位 佐藤明次(中野市)
5位 飯田秀樹(須坂市)
6位 本藤幸恵(中野市)
7位 徳武久子(中野市)
☆金の賞
飯塚邦洋(長野市)



宮阪和久(山ノ内町)  
飯田秀樹(須坂市)

◆長野県弓道近的選手権大会

○6月21日/上田城跡 8射

★男子有段者の部

- 1位 市川隆光 8中(諏訪支部)
- 2位 亀岡英司 8中(南佐久支部)
- 3位 志村 仁 7中(諏訪支部)
- 4位 中村 宏 7中(諏訪支部)
- 5位 細田将弘 6中(上伊那支部)

★女子有段者の部

- 1位 戸田裕子 7中(上小支部)
- 2位 林 玲子 6中(飯伊支部)
- 3位 丸山真子 5中(安曇支部)
- 4位 高山寿恵 5中(飯伊支部)
- 5位 伊藤和子 5中(飯伊支部)

★称号者の部・男子

- 1位 相澤勝浩 7中(諏訪支部)
- 2位 井垣貴夫 6中(松本支部)
- 3位 宮坂博之 6中(諏訪支部)

★称号者の部・女子

- 1位 久保田智恵 7中(上伊那支部)
- 2位 春原由美子 6中(上小支部)
- 3位 永島淑子 4中(長野支部)

☆技能優秀者

- ・男子有段者の部  
志村 仁(諏訪支部)  
市川隆光(諏訪支部)
- ・女子有段者の部  
戸田裕子(上小支部)

◆第6回中学生弓道大会予選会

○7月4日/塩尻市営

★男子団体

- 1位 長野日大B
- 2位 長野日大A

★女子団体

- 1位 長野日大
- 2位 安曇野A
- 3位 安曇野B

★男子個人

- 1位 森 拓磨(長野日大)
- 2位 大宮 樹(長野日大)
- 3位 中村誠人(長野日大)

★女子個人

- 1位 井出真凜(長野日大)
- 2位 吉川優希(長野日大)
- 3位 堀内まなみ(長野日大)

◆第45回県下弓道伊那大会

○7月19日/伊那市武道館

★団体

- 1位 信大A(石原・永目・日比)
- 2位 弓魂A(笹岡・山田・細田)
- 3位 弥生B(伊藤勇・伊藤康・伊藤二)

★個人の部(高校男子)

- 1位 中條 仁(岡谷南)
- 2位 伊藤一樹(弥生)
- 3位 永島 悠(辰野)
- 4位 弥彦沢輝(向陽)
- 5位 笹本健輔(向陽)
- 6位 福澤清太郎(駒工)
- 7位 小口光祐(岡谷南)
- 8位 小原 伶(諏訪美)
- 9位 伊藤勇真(弥生)
- 10位 田畑翔一朗(伊那北)

★個人の部(高校女子)

- 1位 宮内美咲(辰野)
- 2位 三石奈津美(岡谷南)
- 3位 蟹澤昌子(弥生)
- 4位 大内結花(岡谷南)
- 5位 梅原杏奈(向陽)
- 6位 宮坂奈那(向陽)
- 7位 小林 茜(伊那西)
- 8位 原田沙紀(諏訪美)

- 9位 小林亜紀(松川)
- 10位 山田麻衣子(二葉)

★個人の部(一般)

- 1位 日比貴桐(信大)
- 2位 山田静香(弓魂)
- 3位 細田将弘(弓魂)
- 4位 石原 愛(信大)
- 5位 阿部直登(弓魂)
- 6位 笹岡達也(弓魂)
- 7位 山岸稔員(東伊那)
- 8位 永目 実(信大)
- 9位 原 里美(岡谷)
- 10位 高仲成人(駒ヶ根)

◆第8回長野県弓道大会in長野

○7月20日/長野運動公園

124名、内中学生2名

★中学生個人の部(8射)

- 1位 広瀬 葉(佐久)
- 2位 小林優心(長野)

★一般団体の部(24射)

- 1位 尚弓会B(外山・飯塚・神津)
- 2位 尚弓会A(松倉・飯田・古澤)
- 3位 中野ひなB(徳竹・佐藤・大塚)

★一般個人の部(8射)

- 1位 高橋正弘(上小)
- 2位 宇野久子(長野)
- 3位 金原 正(佐久)
- 4位 外山勇一(長野)
- 5位 棚田千鶴(長野)
- 6位 徳竹光春(中高)
- 7位 古澤金蔵(飯山)
- 8位 小山謙太郎(須高)
- 9位 竹内 博(長野)
- 10位 辰野正雄(長鉄)

◆長野県弓道遠的選手権大会

○8月9日/長野運動公園

★男子有段者の部

- 1位 志村 仁(諏訪支部) 11中
- 2位 森泉拓志(佐久支部) 9中
- 3位 亀岡英司(南佐久支部) 8中

★女子有段者の部

- 1位 栗林 薫(松本支部) 11中
- 2位 中村美穂(上伊那支部) 9中
- 3位 浦野恵未香(松本支部) 8中

◎全日本派遣選手

- 【男子】松枝敏広(飯伊支部)  
上條 寛(松本支部)
- 【女子】栗林 薫(松本支部)  
中村美穂(上伊那支部)

◆第40回全日本教職員弓道選手権大会

○8月8日~9日/秋田市

★男子個人の部

- 4位 高砂健司(志学館高校教諭)

◆平成21年度長野県弓道支部対抗競技会

○8月30日/県営飯田

★近的の部(団体)

- 1位 上伊那支部(6点)
- 2位 諏訪支部(4点)
- 3位 飯伊支部(3点)
- 4位 安曇支部(2点)
- 5位 長鉄支部(1点)

★近的の部(個人・12射)

- 1位 市川隆光(諏訪支部) 11中
- 2位 亀岡英司(南佐久支部) 11中
- 3位 永藤 聡(須高支部) 11中

★遠的の部(団体)

- 1位 飯伊支部(6点)
- 2位 上伊那支部(4点)
- 3位 塩尻支部(3点)
- 4位 諏訪支部(2点)
- 5位 松本支部(1点)

★遠的の部(個人・12射)

- 1位 森泉拓志 (北佐久支部) 12中
- 2位 水田明美 (上伊那支部) 11中
- 3位 中村 宏 (諏訪支部) 11中

- 1位 上伊那支部 (10点)
- 2位 飯伊支部 (9点)
- 3位 諏訪支部 (6点)

◆第87回諏訪大社御射山奉射会  
第59回近県弓道下諏訪大会

○8月23日 / 下諏訪弓道場・陸上競技場

★奉射の部(遠的4射)

- 1位 米山美奈 (上諏訪) 4中
- 2位 浦野あん (赤穂C) 4中
- 3位 木下祿章 (下諏訪卯月) 3中

★近県 個人の部 (近的4射+遠的4射)

- 1位 中村 宏 (下諏訪卯月) 7中
- 2位 長澤克彦 (下諏訪卯月) 7中
- 3位 米倉大貴 (東海A) 6中

★同 団体の部 (24射)

- 1位 下諏訪卯月(長澤・木下・杉村) 15中
- 2位 下諏訪卯月(中村・金子・足助) 14中
- 3位 諏訪実 (矢澤・伊藤・原田) 13中

◆第24回北信地区高校弓道大会

○9月6日 / 長野運動公園

★男子団体の部

- 1位 中野西B (北沢・小林・三木) 14中
- 2位 吉田C (菅谷・梨元・出澤) 14中
- 3位 篠ノ井E (坂田・山岸・小林) 14中
- 4位 吉田A (寺沢・宮坂・加藤) 13中
- 5位 屋代F (榊澤・勝野・中村) 12中

★女子団体の部

- 1位 文大E (平瀬・沼田・馬場) 14中
- 2位 須坂A (中村・玄蕃・岡田) 13中
- 3位 日大D (梅原・落合・瀧澤) 12中
- 4位 屋代E (滝沢・北村・伊藤) 11中
- 5位 吉田D (早野・佐藤・藤澤) 11中

★男子個人の部

- 1位 横田 篤 (吉田) 2位 小林瞭介 (篠ノ井)
- 3位 北原明典 (日大) 4位 小林孝人 (中野西)
- 5位 大草夏生 (長商)

★女子個人の部

- 1位 滝沢夏季 (屋代) 2位 黒崎美帆 (中野西)
- 3位 瀧澤知世 (日大) 4位 平瀬明日香 (文大)
- 5位 中嶋美咲 (長商)

審査合格者

- 東北地区錬士臨時中央審査(7月5日)
- ▽錬士 荒 井 みさ江 (中高支部)
- 教員特別臨時審査 秋田市(8月10日)
- ▽六段 高 畑 正 之 (長野支部)
- 北信越地区臨時中央審査(9月13日)
- ▽六段 原 利 彦 (長野支部)

表彰

◆伊那市体育協会表彰(4月24日)

功労章 萩原秀紀 (錬士五段 上伊那支部)

◆長野市体育協会表彰

弓道の部(5月21日)

功労章 宇野久子 (教士六段 長野支部)

◆全日本弓道連盟創立六十周年記念

功労者表彰・範士受有者 小林義行 (範士八段)

お悔やみ申し上げます (敬称略)

四段 酒 井 みどり (61歳)

長野市 8月19日(逝去)

教士七段 宮 崎 今朝一 (88歳)

長野市 9月19日(逝去)

「はつさい」

今年の夏は平年より早い梅雨入となりましたが、雨が降らないままに梅雨明け宣言が出されたら長雨となり、全国に雨による災害がありました。

多くの方が亡くなり、ご冥福をお祈り申し上げます。

新型インフルエンザの大流行により、県内でも松商学園高校空手部のインターハイ出場辞退、又亡くなられた方も出ました。皆様、体調には充分にお気をつけ下さい。七月は県内各地で講習会が開催されました。

私も講師として中級者講習会に参加させていただきました。受講生の皆さんが大変熱心に受講され、体配、射技の向上になったと思います。

長野県弓道連盟の未来は明るいと感じました。

七月十一日・十二日の北信越地連幹部講習会を受講しました。

幹事を務めるとの事で、講師の先生方と打合せをして、なれぬ事で戸惑いましたが、山川先生のアドバイスをいただいたいて、無事終了する事ができました。

弓道ながの三十号に、強化部長北嶋晋先生の『新潟国体の展望』が掲載されました。

三十二号には良い結果が書かれている事をお祈り申し上げます。

(百瀬)

弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立 1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立 2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861